

硫黄岳（八ヶ岳）

<山行日> 1月12日（土）～13日（日）

<コースタイム>

1/12（土）美濃戸口10：30－美濃戸山荘11：25/11：40－堰堤広場12：40/12：55－赤岳鉱泉14：15

1/13（日）赤岳鉱泉7：30－赤岩の頭9：15－硫黄岳9：55/10：10－赤岩の頭10：30－赤岳鉱泉11：20/12：20－堰堤広場13：20－美濃戸山荘13：45/14：00－美濃戸口15：00 歩程：1日目3：45、2日目6：45

「まんぷく」山行

新宿では曇っていた空も、山梨に近づくにつれ次第に良くなってきた。天気は、予報通り期待できる。

「あずさ」の切符は、各自で予約しているので、みんな乗っているか心配になるが茅野のバス停で全員合流。これで一安心。と思った所リーダーを残して、バスが発車しそうになり大慌て。何とか間に合い、やれやれ。

今年は雪が少なく、美濃戸口をスタートする時は、夏スタイルだ。堰堤広場でアイゼンを付け、ようやく冬らしくなり、ほどなくアイスクライミングの氷壁「アイスキャンディー」が聳える赤岳鉱泉小屋に到着。今日はここまで。氷壁は大迫力で、多勢練習している。氷の壁にキツツキの様にアイゼンを効かせて止まってピッケルを振



っている。体力勝負か？年寄りには無理だ。

連休とあって小屋は、大変なにぎわいだ。

我々は、個室で早々と乾杯！ 部屋で「ビーコン」練習はやりましたよ。

夕食は、豪華でボリュームたっぷり。「豚しゃぶ」と「赤魚の塩焼き」と珍しい組み合わせの肉と魚のフルコース。全員まんぷくで部屋に帰っても飲み直す元気も無く、男性陣は沈没。女性陣は、元気に女子トーク。部屋は、コタツが終夜通電されていて、暖かく、更にトイレは水洗、暖房便座で感激！

13日 夕食につづき、朝食も結構なボリューム。

晴天のなか、アイゼンを効かせてつづら折れの樹林帯を登る。傾斜は急だがアイゼンが気持ち良く効いて、夏よりも登り易いだろう。樹林から垣間見える乗鞍を眺めながら、皆さん黙々と登る。赤岩の頭からは360度の展望が楽しめ、頂上からは乗鞍、仙丈～北岳、北アルプスの峰々。去年登った天狗岳や黒斑山から見た浅間山が以外に近くに見えた。この美しさは、言葉に出来ない。この景色だけで、ご飯3大盛り3杯おかわりで来ます。

この大絶景と真っ青な空を満喫、お腹いっぱい。

下山途中で渡辺敦子隊とハイタッチで感激のすれ違い。さすがに早いペースで登っている！

美濃戸口で食べたソースカツ丼がうまかった。濃い目に揚がったカツとキャベツと独特のソースが絡んでこれが本場の味か！お腹いっぱい。今回は、硫黄からの最高の天気と景色、小屋のご飯、ソースカツ丼とメンバーに恵まれ、朝の連ドラのごとく「まんぷく」の山行でした。参加の皆様、リーダーありがとうございました。

「あなたとトウラッタッタ♪」 齊内（記）

